

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】
【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】



Vol.111

「国見町における地域のお宝建造物展」を開催しています

中土呂



大学生によるパネル解説の様子

8月1日から9月27日まであつかし歴史館にて町と郡山女子大学が調査を重ねてきた12年間と、今年の成果を加えたパネル展示「国見町における地域のお宝建造物」を開催しています。

国登録有形文化財「奥山家住宅」「松田家住宅」をはじめとする歴史的建造物や、当町の特徴的な景観を形成する石蔵など、身近に存在する地域の建造物についてその魅力を紹介するパネルおよび石蔵模型が展示されています。

また、8月1日には郡山女子大学長田城治准教授と同大学学生による展示解説が行われ、当町で学んだ研究結果を町民の前で披露しました。

9月27日まで展示していますので、ぜひ足を運んでみてください。

国見の歴史を学び、桃を楽しむ「モニターツアー」を実施しました

7月20日に仙台圏をターゲットとしたモニターツアーを実施し、9組22名の親子連れが参加しました。ツアーでは、今が旬の桃狩り、あつかし千年公園、道の駅国見あつかしの郷を巡りました。桃狩りでは、農家さんから国見の桃はなぜおいしいのかや、採り方のコツなどを教えてもらいました。採りたての桃をその場で試食し、子どもたちは「あまい！」と喜んでいました。

「あつかし千年公園」では蓮まつりやザリガニ釣りを楽しみました。国史跡である「阿津賀志山防塁」に登り、全景を眺めながら歴史について学びました。ガイドより、奥州合戦の舞台であり歴史深い土地であることが説明されると子どもたちは熱心に話を聞いていました。

子どもたちからは「楽しかった」との声が多く聞かれ、自分たちで収穫した桃を食したり、歴史を学んだり町の魅力を1日で存分に堪能してもらいました。



— Activity Report —

Vol. 65

地域おこし協力隊活動日記

4月から国見町地域おこし協力隊（フリーミッション部門）として活動しています、田村ひなたです。よろしくお願いいたします。

3月まで大学で建築やまちづくり、デザインについて学び、「地域で親しまれ、大切にされてきた建物や風景をこれからも未来へつないでいきたい」という思いで活動しています。建築やデザインの視点を生かしながら、国見町の魅力や歴史を多くの方に伝えられるよう取り組んでいきます。



田村 ひなた



国見町の風景写真を使い、地域おこし協力隊の齋藤夫妻が手掛ける香りのブランド「Lives」のアロマスプレーラベルをデザインしました。



郡山女子大学による歴史的建造物の調査・実測、清掃活動のサポートなどに携わりました。



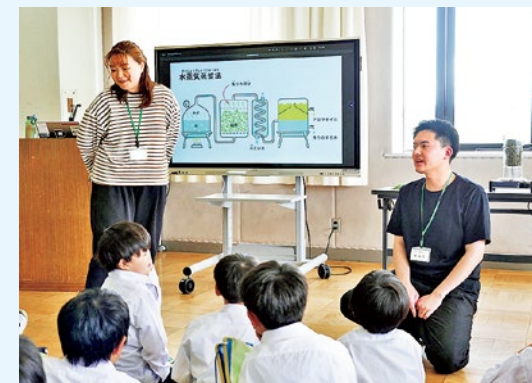
齋藤友希 瑞希

今年度が最後の3年目となりました齋藤友希、齋藤瑞希です。

国見町や福島で体感した情景、記憶を香りで表現するフレグランスブランド“Lives（ライブズ）”を立ち上げ、今までに福島の温かさを表現したハンドソープ、国見町の林檎を使ったハーブティーの開発と販売を行ってきました。

今後はLivesのブランドとしての新商品開発と国見の桃を使用したハーブティーの開発などを予定しています。また、9月に開催される芸術祭では、貝田地区の松田家住宅のふつつ演劇部の演劇の舞台の香りを担当します。

Livesを町内外へ発信して、「国見町が気になる！行ってみたい！」という人を増やしていきたいです。



今年度から国見小学校の3年生2クラスに香りの授業も開始し、感性を刺激し表現力を高める香育で、国見町のある植物などを摂取して一緒に学んでいます。



奥山家洋館では、“ときほぐす”という植物をテーマにした、ハーブティーや漢方茶の調合、植物を蒸留してオリジナルのアロマスプレーを制作するワークショップを開催しています。



日々の活動やワークショップ情報などを発信しています。ぜひフォローください。